



**『伊東豊雄×UR』団地リノベーションプロジェクトが始動
～建築家・伊東豊雄氏と千里青山台団地で居住者参加型デザインを実施～**

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）西日本支社（大阪市城東区、理事・支社長：大西誠）と建築家の伊東豊雄氏（東京都渋谷区、株式会社伊東豊雄建築設計事務所代表）は、千里青山台団地（大阪府吹田市）において、「居住者参加型デザインによる共用空間リノベーション」と「住戸リノベーション」に取り組むプロジェクトを平成 26 年 7 月から始動します。

1 プロジェクトの背景・目的

千里ニュータウン内にある千里青山台団地は、管理開始から約 50 年の時を経て緑豊かな住環境が形成されており、そこで培われた団地コミュニティは今でも受け継がれていますが、少子高齢化の進行等により、かつての活気を失いつつあります。

これまで、UR都市機構では、当団地の既存ストックを活用した団地の活性化、魅力向上のため、住戸リノベーションやコミュニティ活性化に取り組み、ウェブ上で団地での暮らし方や地域活動を紹介しながら、お住まいの皆様と一緒に団地の魅力を発信してきました。

伊東豊雄氏は、建築界のノーベル賞といわれているプリツカー建築賞（2013年）やヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展で最優秀賞となる金獅子賞（2002年：生涯業績部門、2012年：日本館コミッショナーを務め国別参加部門）を受賞するとともに、近年では東北の被災各地で「みんなの家」の建設を進め、地域の共同体と密着しながら建築を通じて人々が集まることができる場を形成し地域力を高めることに積極的に取り組んでいます。

今回、これまでの両者の取り組みを踏まえ、『伊東豊雄×UR』として、「居住者と一緒に考え、かたちにしていく作業を通じた共用空間リノベーション」と「住戸リノベーションの新たな展開の提案」により、お住まいの皆様の団地への愛着が深まるよう、更なる団地の活性化、魅力向上を進めてまいります。

2 主な取組み内容

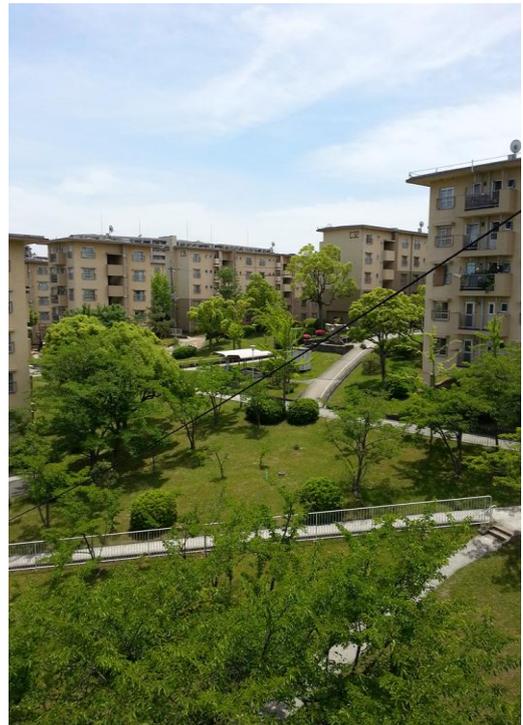
- ・居住者参加型デザインによる共用空間リノベーション
- ・住戸リノベーションの新たな展開の提案

3 伊東豊雄氏プロフィール

別紙のとおり

4 千里青山台団地の概要

- ・所在地 大阪府吹田市青山台
- ・管理開始 昭和40年度
- ・管理戸数 1,846戸
- ・アクセス 阪急千里線「北千里駅」から
徒歩約7分



(写真) 千里青山台団地の屋外空間

お問い合わせは下記へお願いします。

西日本支社 ストック事業推進部 エリア再生第1チーム

(電話) 06-6969-9060

西日本支社 総務部 総務チーム(広報担当)

(電話) 06-6969-9008

伊東豊雄 (いとう・とよお) 建築家

<略歴>

- 1941年 京城(現ソウル)市生まれ。
父の郷里の長野県下諏訪町で育つ
- 1965年 東京大学工学部建築学科卒業
- 1965年～69年 菊竹清訓建築設計事務所勤務
- 1971年 株式会社アーバンロボット設立
- 1979年 株式会社伊東豊雄建築設計事務所に改称
- 2002年～ 多摩美術大学美術学部客員教授
- 2005年～ くまもとアートポリスコミッショナー
- 2012年～ 神戸芸術工科大学環境デザイン学科客員教授
- 2013年～ 東京藝術大学美術学部建築科客員教授



<主な作品>

- 1984年 シルバーハット(東京)
- 1991年 八代市立博物館(熊本)
- 1997年 大館樹海ドーム(秋田)
- 2001年 せんだいメディアテーク(宮城)
- 2003年 東雲キャナルコートCODAN 二街区(東京)
- 2004年 まつもと市民芸術館(長野)
- 2006年 瞑想の森 市営斎場(岐阜)
- 2007年 多摩美術大学図書館(八王子)(東京)
- 2008年 座・高円寺(東京)
- 2009年 2009 高雄ワールドゲームズメインスタジアム(台湾)
- 2010年 トーレス・ポルタ・フィラ(スペイン)
- 2011年 今治市伊東豊雄建築ミュージアム(愛媛)
- 2013年 台湾大学社会科学部棟(台湾)



せんだいメディアテーク © 宮城県観光課



東雲キャナルコート CODAN 二街区



台湾大学社会科学部棟 © 中村絵



仙台市宮城野区のみんなの家

<主な受賞>

- 1986年 日本建築学会賞作品賞(シルバーハット)
- 2002年 ヴェネチア・ビエンナーレ金獅子賞(生涯業績部門)
- 2003年 日本建築学会賞作品賞(せんだいメディアテーク)
- 2006年 王立英国建築家協会(RIBA)ロイヤルゴールドメダル
- 2010年 高松宮殿下記念世界文化賞
- 2012年 ヴェネチア・ビエンナーレ「金獅子賞」
(コミッショナーを務めた日本館が受賞)
- 2013年 プリツカー建築賞

<近年の活動>

東日本大震災で代表作の一つである「せんだいメディアテーク」が被災し、その復旧に携わったことをきっかけに、各地の復興活動に精力的に取り組んでいる。仮設住宅における住民の憩いの場として提案した「みんなの家」は、これまでに、宮城県仙台市、同東松島市(2軒)、同岩沼市、同気仙沼市、岩手県釜石市(4軒)、同陸前高田市に完成し、現在福島県相馬市などでも計画が進んでいる。

2011年に私塾「伊東建築塾」を設立。若く優れた建築家の育成を目指す養成講座や、国内初の試みとなる児童対象の継続的な建築スクール、子ども建築塾を開講し、建築と社会のつながりを深める活動を行っている。